

わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成18年 12月 12日	
		作成部署	道路総括室	
事業名	府道八幡インター線 道路新設改良工事	構想番号	(土・道計) 構-18	
		地区名	八幡市美濃山	
概算事業費	80億円	事業期間	9年	
事業概要	L=1860m W=11m 当面2車線 (将来 W=25.0m 4車線)			
関連する公共事業	第二名神高速道路			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など 	<p>・計画地の現状は竹林を主体とした丘陵地であるが、今後は都市的な土地利用が予定されている。</p>	<p>・第二名神と一体的に実施された環境アセスの結果、周辺的生活環境や自然環境について環境保全目標が達成されており、着手前には補足調査を実施し、結果に基づき必要に応じ、対応策を検討。</p>	△
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質、粉塵 電磁波・電波・日照 など 	<p>・住居系地域での騒音の軽減や、市街化による水循環への影響を軽減する必要がある。</p>	<p>車道の高機能舗装や歩道の透水性舗装の実施。</p>	△
地域個性・文化環境	<ul style="list-style-type: none"> 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など 	<p>・高速道路アクセスの良さから、将来の京都府の南の玄関口となり得る。</p>	<p>・今後、沿道で都市的な土地利用が予定されており、将来の4車線化に際しては、道路と都市空間との一体的で良好な市街地空間の形成を図る。</p>	△
地域の環境像	計画地の現状は竹林を主体とした丘陵地であるが、今後、沿道で都市的な土地利用が予定されているため、道路と一体的で良好な市街地空間の形成を図る。			
特記事項	なし			